座・高円寺
アクセシビリティ・コーディネーター育成講座
― 演劇がひらく、すべての人のための劇場へ ―

受講生募集要項

期間	2026年11月～2027年2月
会場	座・高円寺（東京都杉並区高円寺北2-1-2）
受講料	基礎講座＋実地研修 通し受講 一般3,000円／杉並区民割引、障害者割引、U25 2,500円 ※申し込み状況により、基礎講座 第1～4回 単発受講も受付ます（1,000円／回） 特別講座 1,000円／回
申込	2026年11月3日（火・祝）10:00　受付開始　先着順
情報保障	基礎講座・特別講座の全回に、手話通訳とUDトーク（文字表示）が付きます。 お申込みは不要です。 UDトークの文字は、会場のモニターまたはご自身の端末でご覧いただけます。

講座について

舞台芸術に関わる人、関わりたい人が、当事者の声を手がかりに「すべての人のための劇場」をともに考え、実践につなげる講座です。

基礎講座は「学ぶ→体験する→実践する」の流れで進みます。障害の社会モデルの基礎から、聴覚障害・視覚障害の当事者の話とワークショップを経て、演技アカデミー修了公演での実地研修に至ります。
特別講座では、エイブリズムの理解から、舞台芸術のアクセシビリティガイドラインを現場でどう実装するかを考えます。

基礎講座＋実地研修　全6回

山田小百合さんを中心に、各回毎にゲストを招いて6回連続で考える講座です。通しでの受講を基本としますが、定員状況により、第1回から第4回までは単発での受講も可能です。

時間　各回 13:00 ～16:00（第2回のみ17:00終了予定）　**会場**　座・高円寺 けいこ場ほか

第1回

2026年11月23日（月・祝）

13:00-16:00

イントロダクション／インクルーシブワークショップ

前半は講座のねらいと進め方を共有し、障害の社会モデルや合理的配慮などの基礎的な視点を確認します。後半は、日常に潜む見えづらい差別の構造を、体を動かしながら考えるワークショップです。

会場　けいこ場2
講師　山田小百合（特定非営利活動法人Collable 代表理事）、宮本晶子（座・高円寺）
単発受講　可

第2回
2026年11月29日（日）
13:00-17:00

ろう・難聴の視点から考える ― 来館対応・協働のためのワークショップ―

前半は、ろう者・難聴者の文化やコミュニケーションの多様さ、協働についてのお話を当事者から伺い、後半は、劇場の受付などの来館対応を想定した対面ワークショップです。講師の廣川麻子さん、座・高円寺のろう者スタッフとともに、実践的に学びます。

会場 けいこ場1
講師 廣川麻子（TA-net）
アシスタント 座・高円寺ろうスタッフ（小野花音、西脇萌華、並木晴二朗、野﨑 剛）ほか
単発受講 可

第3回
2027年1月17日（日）
13:00-16:00

見えない人はどう見ている？

視覚障害当事者でブラインド・コミュニケーターの石井健介さんから、日常や鑑賞の楽しみ方を聞きます。その体験の感覚を参加者と共有する、鑑賞体験のワークショップです。

会場 けいこ場2
講師 石井健介、山田小百合（特定非営利活動法人Collable 代表理事）
単発受講 可

第4回
2027年1月23日（土）
13:00-16:00

音声描写を体験してみよう。

第3回の内容を踏まえて、俳優・ナレーターで舞台映像のAudio Description writerとしても活動している彩木香里さん、視覚障害当事者で俳優の関場理生さんをお招きし、音声描写・イヤホンガイドの実践から、見えない人の鑑賞を支える環境づくりを学びます。

会場 座・高円寺2
講師 彩木香里（nubo）、関場理生、山田小百合（特定非営利活動法人Collable 代表理事）
単発受講 可

第5回
リハーサル
2027年2月21日（日）
13:00-16:00

実地研修リハーサル

実地研修に向けた講習と諸連絡を行います。

会場 座・高円寺 けいこ場、ロビー等（決定次第、該当者へ連絡します）
講師 座・高円寺スタッフ 他
単発受講 不可（通し受講の方のみ）

第6回
実地研修
2027年2月26日（金）～28日（日）の内1日（予定）

実地研修（当日運営）

「座・高円寺 演技アカデミー」修了公演の当日運営に、2人1組で入ります。音声描写イヤホンの貸出や客席案内などを担当し、座・高円寺のスタッフが見守ります。

会場 座・高円寺
講師 山田小百合（特定非営利活動法人Collable代表理事）、座・高円寺スタッフ 他
単発受講 不可（通し受講の方のみ）

特別講座　全3回

田中みゆきさんを中心に、3回連続で考える講座です。単発での受講もできます。一方的な講義ではなく、質問や交流の時間を設けます。

時間　13:00〜16:00（予定）　**会場**　けいこ場2

第1回
12/20（日）
13:00-16:00

エイブリズムを考える

「できること」を前提にした社会の設計を問い直します。誰もが「差別する側」になりうるという視点から、日常に潜む見えづらい差別の構造を見つめ、どのようにアクセシビリティをともに作っていけるのか考えます。

会場　けいこ場2
講師　田中みゆき
単発受講　可

第2回
1/11（月・祝）
13:00-16:00

舞台芸術のためのガイドラインを実装するには？ vol.1 -モモンガ・コンプレックス-

『舞台芸術に関するアクセシビリティガイドライン ver1.1』をもとに、誰もが楽しめる場づくりに取り組む団体を迎えて、現場の実践を考えます。

会場　けいこ場2
講師　田中みゆき、arts accessibility lab
ゲスト　白神ももこ（モモンガ・コンプレックス）
単発受講　可

第3回
2/11（木・祝）
13:00-16:00

舞台芸術のためのガイドラインを実装するには？ vol.2 - ヌトミック-

『舞台芸術に関するアクセシビリティガイドライン ver1.1』をもとに、演出としてアクセシビリティを取り入れた団体を迎えて、創作の側からの実装を考えます。

会場　けいこ場2
講師　田中みゆき、arts accessibility lab
ゲスト　額田大志（ヌトミック）
単発受講　可

対象・定員

対象　・アクセシビリティについて学びたい方（これから学ぶ方もご参加いただけます。）

・舞台芸術に関わる方、また文化芸術に関わるその他の分野の方

・多様な方との協働を目指している方

定員

- 基礎講座：20名 程度（通し受講基本とし、空き状況により単発受講を募集します）
- 特別講座：各回30名 程度
- 選考はありません。先着順で受け付けます。

受講料

区分	内容	一般	杉並区民割引、障害者割引、U-25
・基礎講座　通し受講	第1～6回（実地研修リハーサル＋実地研修含む）	3,000円	2,500円
・基礎講座　単発受講 ・特別講座	基礎講座の第1～4回 特別講座の各回 ※基礎講座の実地研修（第5、6回のみ）の受講はできません。	1,000円／回	―

申込方法

- 受付開始：2026年11月3日（火・祝）10:00
- 受付方法：座・高円寺ボックスオフィス

  電話予約: 03-3223-7300（10:00～18:00／月曜定休）

  窓口販売: 座・高円寺2Fオフィス（10:00～18:00／月曜定休）

  Web予約: https://cloud-pass.jp/project/zakoenji

注意事項

＜基礎＞

- 通し受講は、基礎講座（全6回）のお申込みとなります。特別講座の受講をあわせて希望される方は、別途ご予約をお願いします。
- 通し受講の申込締切は、11/17（火）23:59締切です。
- 基礎講座の単発受講（第1回～第4回）は、11/19（木）10:00より販売、各回定員に達し次第終了します。
- 実地研修リハーサル（第5回）と実地研修（第6回）は通し受講者のみ、単発でのお申込は受付不可となります。
- 実地研修の日程は、「座・高円寺 演技アカデミー」修了上演の詳細が決まり次第、複数の日時の中から希望日を伺って決定します。

＜特別＞

- 特別講座の申込期間は、11/3（火・祝）10:00より販売、各回定員に達し次第終了です。

◆やむを得ぬ事情により、記載内容・講座情報等に変更が生じる場合がございます。

◆講座中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきました受講チケットのキャンセル・変更は承れません。

アクセシビリティ対応が必要な方への申し込みについて

以下に当てはまる方は、チケットのお申込みとは別に、こちらの申込フォーム(https://business.form-mailer.jp/fms/f143bd7e375175)からお申込みください。

〇介助者の同伴を希望される方（介助者1名まで受講料無料。通し受講・単発受講・特別講座のいずれも対象です。）

〇車いすでご参加される方

〇その他、受講にあたって配慮が必要な方

※フォームの利用が難しい方は、メール（accessibility@syuzgen.com）または電話（03-3223-7500）でも受け付けます。

会場

会場 座・高円寺（東京都杉並区高円寺北2-1-2）

お問い合わせ

座・高円寺　アクセシビリティ担当

TEL：03-3223-7500　MAIL：accessibility@syuzgen.com

主催：座・高円寺（指定管理者：合同会社syuz'gen）

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会